

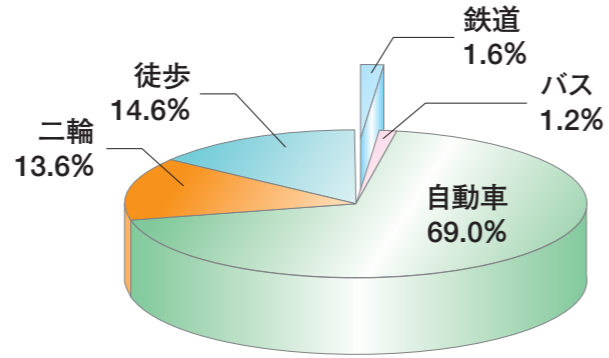
甲府都市圏は自動車利用が多い

◆甲府都市圏の自動車利用率

甲府都市圏の自動車利用率は、都市圏全体で69%を占め、日常生活において重要な交通手段となっています。



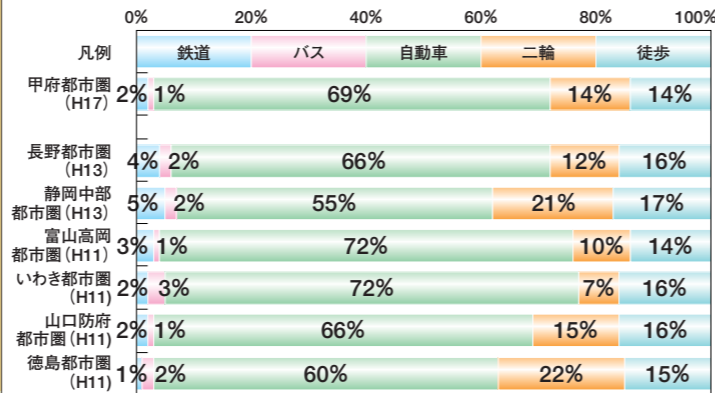
【甲府都市圏の交通手段分担率】



◆他都市圏との自動車利用率の比較

他の都市圏と比較すると、甲府都市圏の自動車利用率は、富山高岡都市圏（富山県）やいわき都市圏（福島県）に次いで高く、一方で、鉄道やバスといった公共交通の利用率が特に低いことが特徴としてあげられます。

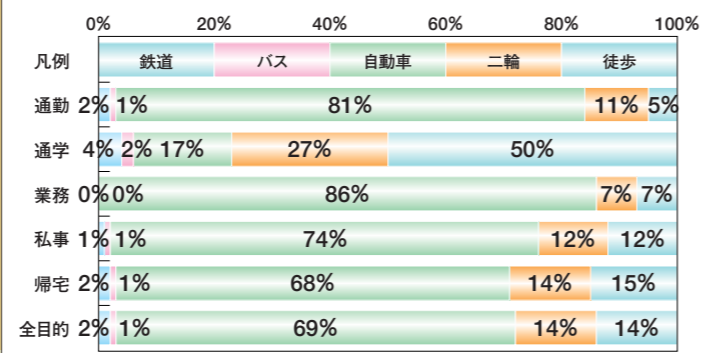
【他都市圏との交通手段分担率比較】



◆甲府都市圏における移動目的別の交通手段

業務活動においては、自動車の利用率が8割を超えるなど、多くの移動において自動車が利用されています。

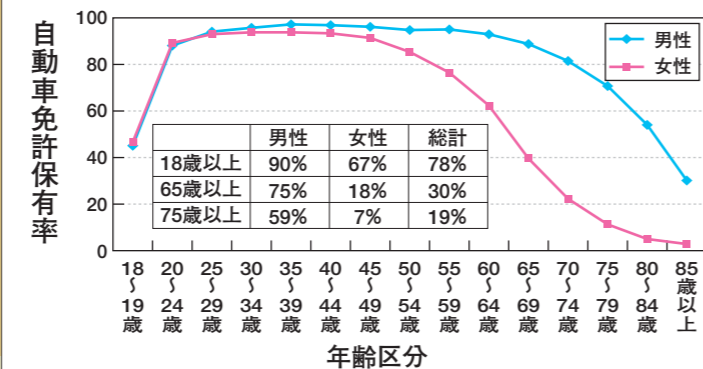
【移動目的別交通手段分担率】



◆甲府都市圏居住者の自動車免許保有率

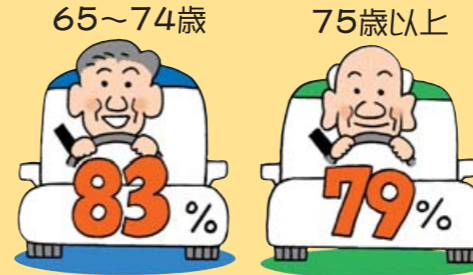
甲府都市圏居住者の免許保有率は全体で78%で、65歳以上の高齢者では30%となっています。しかし、今後、免許保有率が8割近い50歳台が高齢者になると、高齢者の自動車利用が高まることが考えられます。

【性別年齢別自動車免許保有率】

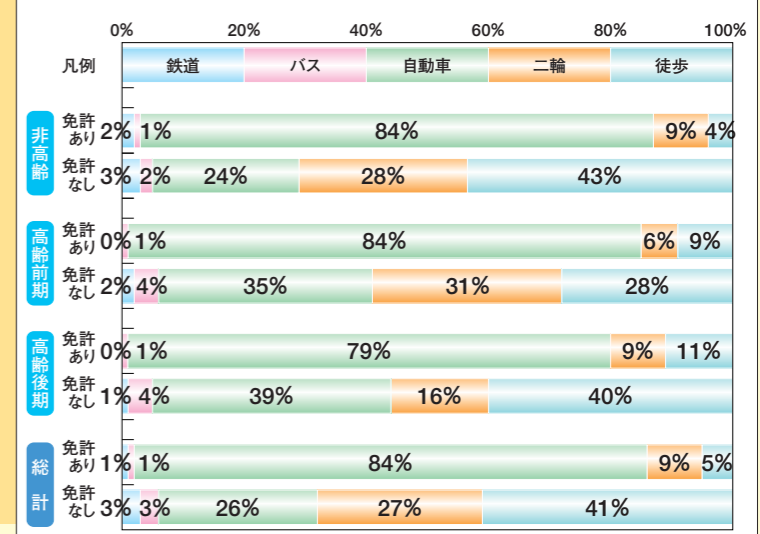


◆高齢者の自動車利用率

免許を持つ高齢者では、65～74歳の「高齢前期」で移動の83%、75歳以上の「高齢後期」でも79%の移動において、自動車が使われています。



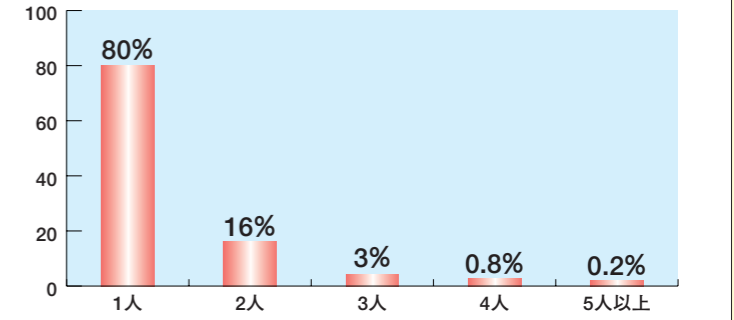
【高齢・非高齢別免許有無別交通手段分担率】



◆自動車1台当たりの乗車人員

自動車を利用した移動のうち、80%が1台の自動車に「一人」で乗っている状況です。

【自動車1台当たりの乗車人員構成】

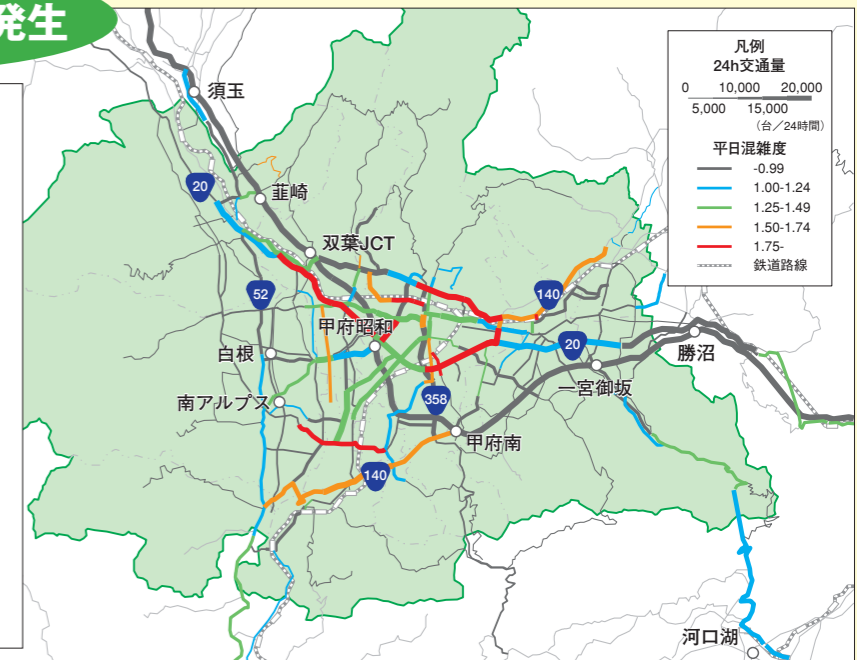


渋滞・道路混雑の発生

国道20号や甲府市から隣接市町への道路において、朝夕のラッシュ時を中心に渋滞が発生しています。



(写真) 国母交差点



注) 平成17年道路交通センサス(一般交通量調査)に基づき作成。

甲府都市圏は自動車利用が非常に多い地域ですが、渋滞、道路混雑の緩和や環境にやさしい地域とするために、自動車の利用の仕方の工夫が課題です。